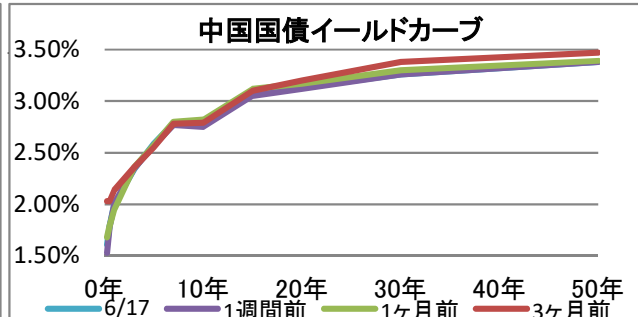
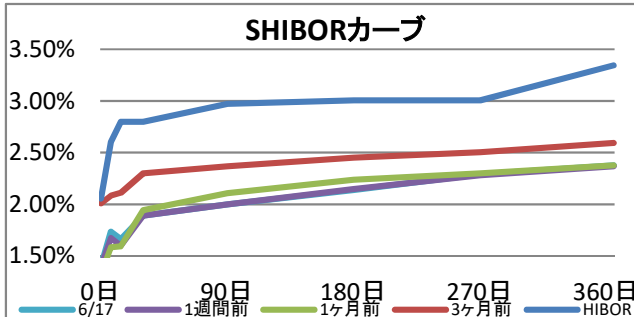


基準レート		2022/6/17	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.6923	-0.0071
	JPY/CNY	5.0471	+0.0614
SHIBOR	3M	2.0000%	+0.0000%
国債利回り	10年	2.78%	+0.03%
上海総合指数		3,316.79	+31.96



(1) 概況

国際金融市場では、米FOMCでの急速な利上げを織り込む動きとその巻き戻しから債券市場を中心に乱高下する展開となった。15日のFOMCを前に米10年物国債が3.5%近辺まで急騰し、急速な金融引締めによる経済への影響に対する懸念から株式市場は続落し、ダウ平均株価は2021年1月以来の3万ドル割れとなった。外為市場では、スイス中銀の15年ぶりとなる予想外の利上げ等もありやや大幅な値動きも見られたが、前週末対比では小幅なドル高で週末を迎えている。

中国金融市場は、国外市場の混乱の影響は限定的で、債券利回りはやや上昇したものの、雇用を含む景気回復の鈍さへの懸念から緩和的な金融政策に対する期待の高さに変化はなく、株式市場は国外からの投資資金の流入もあって堅調に推移。外為市場ではFOMC前に一時6.76台まで上昇したものの6.69台まで戻す行ってこいの展開。

中国では、5月の国外投資家の債券保有高が3ヶ月連続で減少し、米国での超党派議員による対中投資阻止への合意等に加え、国内での景気回復の足取りの重さが懸念される中、中国人民銀行がIT大手の持株会社設立申請を受理したとの報道や中国建設銀行がデジタル人民元での金融取引を開始する等、規制緩和による景気支援姿勢に変化はない。また、返還後25年を迎える香港を重視する趣旨の報道が増えており、HKMA総裁も香港を国際的な債券取引センターとすべく、HKMAのCMUと中国本土を含む世界のICSDとの接続や担保管理の充実による24時間稼働と流動性資金管理への支援の実現に向けた対応強化を表明している。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日500億元、MLF期日2,000億元に対し、新規リバースオペ500億元、MLF2,000億元（2.85%）による中立調整を実施。

(3) 主な経済指標

- ・小売売上高（5月）は、前年比-6.7%（4月、同-11.1%）と3ヶ月連続のマイナス（物販、飲食とも）。物販のマイナス幅は大幅に縮小する一方、飲食は上海等でのロックダウンの影響から大幅なマイナスに改善はみられない。
- ・鉱工業生産（5月）は、前年比+0.7%（4月、同-2.9%）と予想外の改善。ただし、ロックダウンの影響もあって鉱業の前年比+7.0%を除き顕著な回復は見られず、産業用ロボットやインフラ関連のマイナスが続いている。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.4140%	1.4500%	1.3000%	
1W	1.7370%	1.6000%	1.7000%	1.4200%
2W	1.6640%	1.7100%	2.2900%	
1M	1.8910%	5.0000%	2.0500%	1.8800%
3M	2.0000%	4.9000%	2.0000%	1.8300%
6M	2.1400%	2.5500%		1.9600%
9M	2.2910%		2.3200%	2.2300%
12M	2.3780%	3.7500%		2.3250%

四半期末に対する意識は高まっているものの、中国人民銀行の調節に対する信頼感に変化はなく、国外からの資金流入も限定的で、資金需給は安定しており金利水準は依然落ち着いている。ターム物は1ヶ月の2.10%前後での出会いを除き限定的。

NCDは、6月末（四半期末）越えの金利水準も1.8%台で安定しており、週末に向けて徐々に低下。ターム物の金利水準は、1ヶ月が1.8%台後半、3ヶ月が1.85%前後、6ヶ月が2.0%前後、1年が2.35%前後に小幅に低下している。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	1.50%	1.51%
1W	1.53%	1.55%
1M	1.70%	1.75%
3M	1.50%	1.60%
6M	2.50%	2.60%
12M	3.05%	3.25%

FOMCでの+0.75%の利上げと、7月以降の利上げへの懸念から金利水準は切り上がっているものの、短期中心の取引が続いており、ターム物は1ヶ月の1.7%前後での出会いを除き限定的。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.61%		1.87%	2.05%	2.24%
6M	1.79%		2.03%	2.19%	2.38%
1Y	2.01%	2.01%	2.36%	2.41%	2.60%
3Y	2.34%	2.48%	2.79%	2.86%	3.19%
5Y	2.59%	2.81%	3.08%	3.29%	3.09%
10Y	2.78%	3.09%	3.38%	3.63%	4.41%

債券市場では、米FOMCでの急速な利上げへの懸念による世界的な債券利回りの急騰の影響は限定的で、短期資金市場での資金需給と金利水準が安定していることもあり、利回りは短期で低下する一方、中長期が小幅に上昇する展開となった。10年債利回りは2.78%に小幅に上昇（米10年国債3.23%との差は45bpに拡大）。

イールドカーブは、四半期末を控えているものの短期債の利回りが低下に転じ、中長期債利回りが上昇したことから、スティーピングに転じている。クレジットスプレッドには概ね変化はなかった。

④先物為替市場

	USD / CNY
1W	2.0 / 2.0
1M	11.0 / 11.5
3M	-14.0 / -12.0
6M	-107.0 / -105.0
9M	-240.0 / -225.0
12M	-377.0 / -368.0

対ドル基準レートは6.6923と前週末比-71pipsのドル安元高、対円基準レートは5.0471と同+614pipsの円高元安と、対ドルではFOMC前に6.75台まで上昇していたものの、6.69台のほぼ前週末水準まで戻している。中国国内市場では、FOMCでの大幅利上げへの懸念から一時6.76台まで急騰したものの、FOMC後のパウエル議長発言により米国債利回りの上昇が一服すると、人民元の買戻しが入り、投資資金の流入も手伝って6.70近辺に戻して週末を迎えている。

先物は、米中金利差拡大懸念と国外からの資金流入もあって、大幅に縮小して3ヶ月を越える期間がマイナス圏となり、1年物は-400前後での取引が続いている。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.88%		1.75%
6M	2.00%	2.15%	1.84%
9M	2.07%	2.28%	1.90%
1Y	2.11%	2.37%	1.95%
3Y	2.37%	2.71%	2.00%
5Y	2.56%	2.99%	
7Y	2.71%	3.16%	
10Y	2.87%	3.33%	

スワップ金利は、債券利回り大きな変化はなかったことから、概ね前週末水準で週末を迎えている。債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドは、四半期末要因による短期の基準金利の上昇により若干拡大している。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何かの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入